

番号	交付金事業名		事業主体名	
6	拠点化計画促進研究開発事業		福井県	
事業実施場所		福井県内		
事業の概要		「原子力防災・危機管理機能の向上」、「エネルギー源多角化プロジェクト」を積極的に推進するため、拠点化計画の推進組織である公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターにおいて、県内企業等の研究開発を支援する制度を創設・運営する。		
事業に要した経費(円)		54,401,660 円	交付金充当額	54,401,660 円
事業の成果及び評価		6月に1次募集の事業審査を実施し、提案7件のうち6件(継続4件)を採択。10月には2次募集の事業審査を実施し、「エネルギー源の多角化」に質する事業1件を新たに採択した。 新規事業については、新たな製品開発に向けた基礎データ取得やシステムの試作に成功し、24年度からの継続事業については、原子力発電所でのモニター調査や被災地での実証研究を実施、26年度以降の実用化が期待される。		
事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
拠点化計画促進研究開発事業支援		補助	(公財)若狭湾エネルギー研究センター	54,168,000
審査会 委員謝金		補助	個人6名	160,000
審査会 委員旅費		補助	個人4名	73,660
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無		外部有識者による審査委員会を設置し、平成25年度の事業評価を実施(平成26年5月22日)		
本事業に来年度以降も交付金を充当させる場合の本事業に係る基本的な考え方		製品化に向けて複数年の研究開発を要する事業であることから、引き続き事業を継続して、福井県の強みである繊維技術等を活かした資材開発や再生可能エネルギー関連の技術開発を促進し、安全安心の確保および県内産業の活性化を図る。		
事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		—		